

授業科目名		担当講師名		対象学年	
総合医療論		喜入 厚		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (15)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	現代医療を知る 保健・医療の現場で問われている課題を理解する。				
到達目標	人間をとりまく社会や環境の変化に伴う保健・医療・福祉の役割と仕組みを学び、社会に貢献する方向性、視点を理解する。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第1章 医療と看護の原点：命と看護師について考える
2	第2章 医療の歩みと医療観の変遷
3	第3章 私たちの生活と健康：福祉行政 一次予防と健康増進 高齢者介護をめぐる問題点 心の健康と精神医療
4	第4章 科学技術の進歩と現代医療の最前線
5	第5章 現代医療の新たな課題：生命倫理学と臨床倫理学の展開
6	第6章 医療を見つめ直す新しい視点：患者の安全 知る権利
7	第7章 保健・医療・福祉の潮流：様々な看護職種、在宅医療
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護講座 別巻 総合医療論 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
公衆衛生学		郡山 千早		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1(15)	教室	後期		
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	社会や環境から人間の健康に及ぼす影響と健康の保持・増進に向けた対策				
到達目標	人間が健康な生活を維持、増進するための諸条件と社会における組織的な保健活動を理解する				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	公衆衛生総論
2	健康増進 公衆衛生の活動対象 公衆衛生のしくみ
3	集団の健康をとらえるための手法 疫学・保険統計
4	がん予防
5	感染症とその予防対策
6	母子保健
7	社会保障 高齢者保健
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向 財団法人 厚生統計協会
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
看護関係法令		伊藤 周平		3年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	2 (30)	教室	後期		
実務経験	本科目は、大学での実務経験のある教員による講義				
学修内容	医療 法規				
到達目標	1.健康と環境に関連した法令の概念を学び看護に必要な法規について理解する。 2.看護師としての義務と責任について理解する。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	法規の概念、看護法
2	医事法
3	保健衛生法規
4	小テストと課題 小テストの解説
5	社会保険法 (健康保険法)
6	社会保険法 (介護保険法)
7	社会保険法 (年金・手当)
8	小テストと課題、小テストの解説
9	福祉法 (社会福祉法、生活保護法)
10	福祉法 (児童福祉分野)
11	福祉法 (障害分野)
12	小テストと課題、小テストの解説 労働法と社会基盤整備 1
13	労働法と社会基盤整備 2
14	保健衛生法 (感染症法) 薬務法、環境法
15	まとめ 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 医学書院 看護六法 新日本法規
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
社会福祉		田畑 洋一		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	2 (30)	教室	後期		
実務経験	本科目は、大学での実務経験のある教員による講義				
学修内容	人々の生活を保障する社会福祉政策の理解				
到達目標	社会福祉の概念を理解し医療、看護、福祉との関連性を学ぶ				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	社会福祉の概念
2	社会福祉と社会保障
3	社会保険と公的扶助
4	社会保障の費用
5	公的年金
6	国民年金
7	厚生年金保険
8	医療保障
9	健康保険
10	国民健康保険
11	後期高齢者医療制度
12	介護保険
13	労災・雇用保険
14	社会福祉
15	まとめ 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門基礎 社会福祉
成績評価の方法	筆記試験
備考	